

図書新聞が選ぶ

時代を読み解く本

ベスト20

会期 2016年1月25日(月)～3月26日(土)

主催：図書新聞／千代田区立千代田図書館 協力：三省堂書店神保町本店／東京堂書店神田神保町店

新聞には毎日、社会問題に関する新しい記事が掲載され、時代はめまぐるしく変化しています。しかし変化ばかりにとらわれてしまうと、時代の本質を見抜くことはできません。その手掛かりとなるのが**本**です。

この展示では、辛口書評紙「図書新聞」が、直近1年間に紙面掲載した書籍から20冊を厳選し、**時代を読み解く本**として紹介。合わせて、それらを読む前に最適な入門書、さらに知識を深めるための関連書を推薦コメントとともに展示します。さらに、ベスト20には入らなかったものの、ぜひ読んでもらいたいおすすめ本約50冊も展示します。

本の専門家が選んだ時代を読み解く本をきっかけに、これからの時代をご自身で考えてみてください。

展示関連講演会

創る、売る、批評する立場から伝えたい本の愉しみ

日時：2016年2月19日(金) 19:00～20:30(開場 18:30)

会場：千代田図書館 9階 特設イベントスペース

講師：下平尾 直さん(出版社「共和国」代表取締役)

清原 悠さん(東京大学大学院博士課程/社会学)

大矢 靖之さん(紀伊國屋書店新宿本店仕入課係長)

須藤 巧さん(「図書新聞」編集長)

「図書新聞」編集長を中心に、創る、売る、批評する立場の方々が「本の可能性、について語り合います。詳しくはチラシの裏面をご覧ください。

三省堂書店神保町本店

東京堂書店神田神保町店

連動フェア開催

展示する本の一部を
店内フェア会場で販売します。

詳しくは、各店舗に
お問合せください。



会場案内

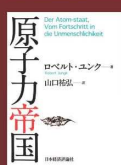
千代田区立 千代田図書館

東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所本庁舎内
電話 03-5211-4289・4290

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線
「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分

開館時間 月～金=10:00～22:00
土 =10:00～19:00
日・祝=10:00～17:00

展示期間中の
定期休館日 2月27日(土)～2月29日(月)



創る、売る、批評する立場から 伝えたい本の愉しみ

2016年2月19日(金) 19:00~20:30(開場18:30)

会場：千代田図書館9階特設イベントスペース 席数：50席(事前申込不要、当日先着順、立ち見可) 参加費：無料

マスコミが盛んに報道する「出版不況」。確かに、出版市場はピーク時の6割にまで縮小し、出版社は「本が売れない」が口癖になった。

本は読まれなくなったのか？ 本はつまらなくなったのか？ いや、決して違う。本はいまも大事に生み出されて、1冊1冊読者に手渡されている。

本講演会では、創る、売る、批評する現場から「本の可能性」について考えたい。

講師



創る

下平尾 直さん

出版社「共和国」
代表取締役

(しもひらなおし) 1968年、大阪府生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程退学。2014年、「世界を書物でロマン化します」をモットーに、(株)共和国を創業。藤原辰史『食べること考えること』、山家悠平『遊廓のストライキ』、『燃えるキリン：黒田喜夫詩文撰』など、既刊13点。



創る

清原 悠さん

東京大学大学院博士課程/
社会学

(きよはらゆう) 1982年、東京都生まれ。東京大学大学院学際情報学府博士課程に在籍。専門は社会学・政治社会学。社会文化学会運営委員、厚木市市民自治基本条例推進委員。近著に『奇妙なナショナリズムの時代』(共著/岩波書店)がある。



売る

大矢 靖之さん

紀伊國屋書店
新宿本店仕入課係長

(おおや やすゆき) 1980年、東京都生まれ。文学修士(哲学専攻)。2006年紀伊國屋書店入社。高松店、梅田本店、福井店を経て新宿本店仕入課係長。「ルーマンから始まる書棚探索」フェアが話題に。紀伊國屋じんぶん大賞選考委員、新書大賞投票委員など歴任。



批評する

須藤 巧さん

「図書新聞」編集長

(すどう たくみ) 1983年、埼玉県生まれ。早稲田大学第一文学部在籍中の2004年より図書新聞にアルバイトとして勤務、卒業後、2007年に図書新聞に入社。2008年に編集長就任。

併設ミニ展示

—— 東日本大震災から5年 ——

「図書新聞」が選ぶ 原発を考える 20冊

東日本大震災の翌週発売の「図書新聞」1面トップの見出しは『「以後」の思想を培うために——人類の叡智が問われている』でした。「図書新聞」は3・11以前から原発の問題を考えるための書籍を多数書評してきましたが、「以後」も変わらぬ姿勢で取り組んでいます。

このミニ展示では、「図書新聞」が、3・11以後に書評を掲載した書籍から20冊を選んで推薦文と共に紹介します。この20冊が関心の扉を開くきっかけとなり、問題意識の深まりにつながれば幸いです。